



夏場のアレルギー性結膜炎は慢性である

最近かゆみを訴えて受診する方が時々おられるので、まとめておきます。にかゆくなり、鼻炎も伴って症状が出てくるなら、これらが原因でほぼ間違いないでしょう。ただ、夏草、イネ科の雑草はスギ、ヒノキのような樹木の花粉と違い飛散の量、範囲は限定的で、ハウスダストも掃除を全くしない部屋や公共施設は少ないことから、アレルギー（抗原）の量は多くありません。そのためスギ花粉のように大量の抗原散布による激烈な目、鼻の症状は出てきません。しかし、アレルギー反応は一旦感作が成立すれば、以降はわずかな抗原刺激で反応が持続してきます。イネ科の雑草やハウスダストはいつでも存在するので、結膜炎が慢性化しやすくなります。症状が軽微なため対策を怠りがちですが、持続する炎症反応とアレルギー反応を抑える目薬を自己強く差し続けることが必要です。朝は涙液が少なく生体防御が弱いので、起床時に必ず差すと効果的です。屋内のハウスダスト対策は、建物の大きさにもよりますが、居住空間の換気が大切です。

夏場を中心に気温が高い季節のアレルギー性結膜炎の原因は、屋外なら夏草などイネ科の雑草、屋内ならハウスダストです。いずれも梅雨が明けた頃から増えます。梅雨の間に茂った雑草は、その後気温が高くなると花粉が飛散しますし、暑くて空調が一日中フル稼働する気密性の高い屋内では、循環した空気中の埃やハウスダストに暴露されやすくなります。

梅雨明け前後から徐々に、以降はわずかな抗原



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	/
12:30	○	○	○	○	○	○	/
15:30	○	手術	○	/	○	○	/
18:00	○	手術	○	/	○	○	/

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

